



いそり めいちゃん  
(6さい)

だいくさんに なりたいの。  
このまえは べんきょうづ  
くえの いすを くみたて  
る おてつたいをしたん  
だよ。おしろみしたいな お  
うちを たてたいな。



摩周丘幼稚園のおともだち



いしはら ひろくん  
(6さい)

フロヤきゅうせんしゅに  
なりたいな。おじいちゃん  
も やきゅうを している  
よ。ファイターズに はいっ  
て ピッチャーか ショー  
ト サードを やるんだ。

We are enjoying !!  
サークル  
おじゃまします!

弟子屈音頭 月の摩周 普及保存部  
部長・鈴木 幸栄さん  
部員・30人



月の摩周(上)と弟子屈音頭(下)の練習風景

興味のある方は、  
鎌田さん ☎482-2344、  
鈴木さん ☎482-1644  
まで、お気軽にお問  
合わせください。



弟子屈音頭 月の摩周 普及保存部の皆さん(上・左)

町の伝統芸能  
きつかけは、  
予定です。

今回はサークルではなく、弟子屈町文  
化協会の中の「弟子屈音頭月の摩周普及  
保存部」をご紹介します。  
同部は以前から、有志による団体とし  
て存在し、他市町村からのイベント出演  
依頼などに応じてきました。昨年9月  
に、組織の拡  
大と強化をし  
ようと話がま  
とまり、20人  
の賛同者が集  
まりました。  
4月から、文  
化協会の中の  
部として本格  
的に活動する  
予定です。

である弟子屈音頭と月の摩周を若い世  
代につないでいこうという思いからで  
した。「子どもたちが大きくなって、いつ  
かふるさとを後にしても「弟子屈音頭を  
踊った」「月の摩周に親しんだ」という思い  
出があれば、それがふるさととの結びつき  
になるのではと思いました」と事務局の  
金子さんは話します。町内の学校や幼稚  
園にも働きかけて、運動会やお遊戯会で  
弟子屈音頭を取り上げてもらったり  
もしているそう。

どちらの曲も摩周湖が歌詞の中心と  
なっていますが、普及保存部を強化する  
にあたり、吉野孝先生が月の摩周の振り  
付けを一部変えたそうです。「世界的に  
有名な摩周湖を、より具体的にイメージ  
できて、なおかつ親しみやすい踊りにし  
ていただきました」と話すのは、部長の鈴  
木さん。町民の皆さんに広く親しんでい  
ただき、絶やすことなく伝えていきたい  
と、練習会も行っています。月の摩周は、  
毎月第2、第4火曜日、13時～15時に公民  
館で、弟子屈音頭は、第3木曜日、19時～  
21時に泉かれあいセンターで行ってい  
ます。

カメラスケッチ



このページは皆さんの  
情報で作られています。  
どのような情報でもすぐ  
かけつけます。  
お気軽にご連絡ください。



企画財政課企画係 ☎482-2913 (課直通)

1月31日  
白銀の上で繰り広げられる熱戦  
雪中パークゴルフ大会で心地よい汗



ボールを見つめる目は真剣そのもの

上西雪中パー  
クゴルフ同好会  
(中澤基矩会長)  
主催の第3回弟  
子屈町長杯雪中  
パークゴルフ大  
会が1月31日、上西雪中パークゴルフ場で行われました。

大会には、町内外から約60人が参加。競技は、男子3部制、女子2部制で行われました。この日は好天に恵まれ、参加者は青空の下、心地よい汗を流しました。競技終了後、表彰式が行われ、上位入賞者には徳永町長から表彰状が送られました。表彰式で徳永町長は「雪中パークゴルフを冬の楽しみとして続けてください」と参加者を激励していました。

2月3日

福は内 鬼は外  
幼稚園や保育園で節分の豆まき



怖いぞと頑張って鬼退治

節分の2  
月3日、幼  
稚園や保  
育園で豆  
まきが行  
われました。  
おひさま

保育園(清水節子園長)では、節分に関する紙芝居で、どうして鬼は豆が苦手なのかを確認しました。鬼の形のゴールにボールを蹴り入れるゲームの後、キツネの妖怪がたたく太鼓の音とともに、3人の鬼が登場。泣いて逃げる子や果敢に豆を投げる子などさまざまでしたが、どうにか鬼を退治して一安心。その後は、年の数だけ豆を食べました。

2月1日

長年にわたり地方自治の発展に貢献  
故 高橋正光さんが正六位と旭日双光章を受章



公子さんと正秀さん中央に位記と勲章を手渡す徳永町長

昨年12月に  
任期半ばで逝  
去された、元・  
町議会議員の  
故 高橋正光  
さん(屈斜路)  
に、特旨叙位・

正六位と特別叙勲・旭日双光章が贈られました。伝達式は2月1日に行われ、高橋さんの妻・公子さんと、長男・正秀さんに、徳永町長から位記と勲章が手渡されました。高橋さんは、町議会議員や同議長、同副議長などを歴任し、長年にわたり地方自治の発展に貢献したとして、この度の受章となったものです。

2月3日

牛乳の消費拡大と地産地消の推進に取り組む  
4Hクラブが青年農業者会議の発表で優秀賞



受賞を報告するメンバー

農業青年で組織す  
る弟子屈町4Hク  
ラブ(岡部隼人会長)  
の皆さんが、1月14、15  
の両日、札幌市で行  
われた平成21年度北海道青年農業者会議で同クラブの取  
組みを発表し、地域活動部門で優秀賞に輝きました。

今回は、同クラブ理事の塩沢稔恵さんが「た〜っぷりミルク FAINAL Plus」と題して、同クラブが2006年から4年にわたり、牛乳もちを通して牛乳の消費拡大と地産地消推進に取り組んだことを発表。見事、優秀賞に選ばれました。受賞報告のため、2月3日に役場を訪れた皆さんは「良い経験ができた。受賞できてうれしい」と話していました。

2月7日

アウトドアでアトリエで  
村上康成さんを迎え読み聞かせ講座



楽しい語りで魅了した村上さん

弟子屈町子ども読書活動  
推進実行委員会主催の読み  
聞かせ講座「絵本作家 村上  
康成さん講演会」が2月7日、  
公民館で開催されました。

「ピンクのいる山」など、自然を題材にした絵本で知られる村上さんは、釣り好きとしても有名です。弟子屈でのカヌー体験から生まれた「ごまのプディ カヌーでスイーゴ」という絵本もあります。講演では、自然に身を置くことの素晴らしさを伝えたいと、絵本づくりにかける思いを語りました。自身の絵本読み聞かせや、ウクレレの弾き語りも披露し、講演終了後はサイン会も行われました。当日は、吹雪にもかかわらず40人以上が会場に駆けつけ、熱心に聞き入っていました。